

●ちよつと気になること（小学校高学年～中学校）

Q 学年が上がるにつれ、勉強の遅れが目立つようになってきました。本人も勉強への苦手意識が強く、家で勉強を教えていても、「できない」と泣いてしまうこともあります。来年は中学校に進学して勉強も難しくなるので、中学校生活についていけるか心配です。

Q 中学生になりますが、コミュニケーションが苦手で、冗談が通じません。友達から冗談で言われたことを真に受けて、怒ってしまったり、「嫌われた」と落ち込んだりしています。特にグループでの会話についていけないようです。だんだん友達関係も複雑になってくるので、将来について心配です。

<つながるためのヒント>



小学校高学年以降は、勉強も難しくなり、友達関係も複雑になってくる時期です。お子さんの成長をどう支えたらいいか悩みますよね。

お子さんが学校の中でどんなことに困っているのか、お子さんの学校での様子や、学校でどんな対応をしているのか、担任の先生に聞いてみましょう。その際に、ご家庭でのご本人の様子についても伝えておくといいですね。

特に、進級や進学など環境が大きく変わる節目の時期には、それまでのお子さんへの対応の工夫を引き継いでもらうことが大切です。
(→ サポートファイルの活用 P27)

思春期はお子さんの変化も大きな時期です。普段からお子さんと同様関わっている身近な人たち（例えば、担任の先生、部活動の顧問、習い事の先生など）と一緒に、お子さんの姿を共有しておくといいですね。また家族以外に、普段からお子さんのことを一緒に考えてくれる人をつくっておくことも大切です。